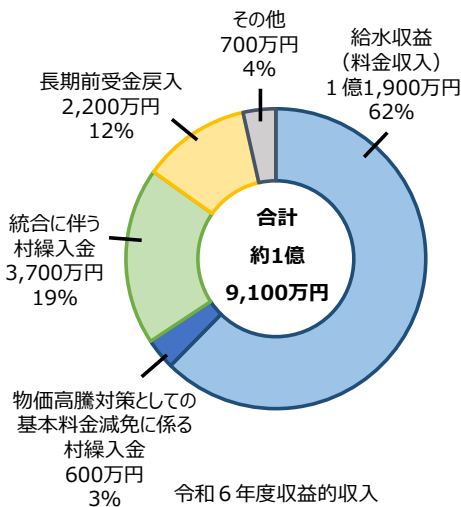


1 千早赤阪水道事業の現状

- 千早赤阪水道事業は平成29年4月に企業団と統合
- 水道事業は給水収益（料金収入）により経営することを基本としているが、統合後の平成29年度から令和8年度までの10年間、料金抑制を目的として千早赤阪村から8,800万円／年の繰出を受けている。  
（基本的には資本的収支の建設改良費の財源とすることを優先し、残額を収益的収支の収入としている。）
- 令和4年4月に平均26%の料金改定を実施  
（料金算定期間は令和4年度から8年度までの5年間）
  - ・1か月に20㎡を使用した場合の水道料金は4,433円/月で大阪府内で3番目に高い水準
  - ・令和4年度の料金改定は9年度の改定を想定して検討⇒令和4年度に26%の改定を実施しても9年度には赤字⇒令和8年度までの村繰出による利益積立を活用し、9年度の改定率を抑制



2 財政収支の状況・今後の見通しについて

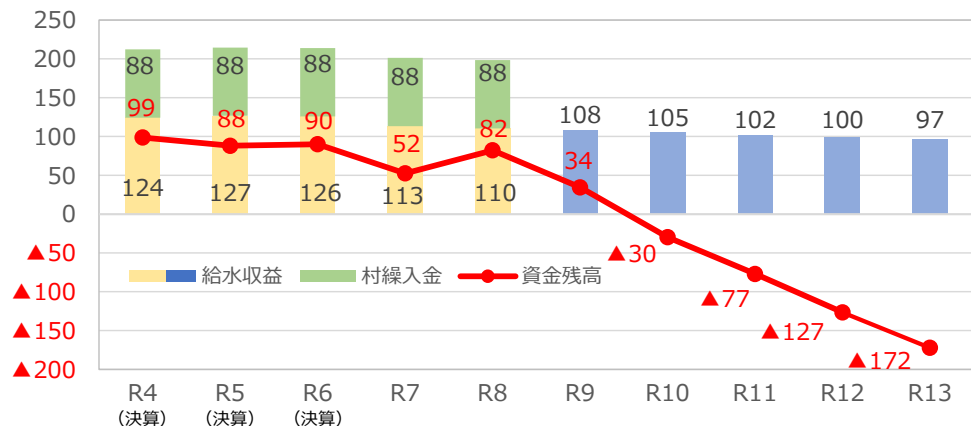
- 給水人口の減少に伴い、給水収益も減少する見込み
- これまでも村からの繰出（繰入金）で黒字を確保している状況
- 水道センターの統合など経営改善の取組も実施しているが、給水収益の減少や村からの繰入金の終了による収入の減、村内連絡管の供用に伴う減価償却費や受水費の増加による支出の増により、**令和9年度以降、単年度損益は恒常的な赤字となる見通し**

単位：百万円、千㎡

収益的収支	R4 (決算)	R5 (決算)	R6 (決算)	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
収入	212	194	191	144	230	145	142	139	136	134
給水収益	124	127	126	113	110	108	105	102	100	97
(有収水量)	(524)	(517)	(513)	(462)	(450)	(439)	(427)	(416)	(406)	(396)
村からの繰入金	58	37	36	0	83	—	—	—	—	—
支出	214	186	180	145	165	176	217	197	196	195
単年度損益	▲2	7	12	▲1	65	▲31	▲75	▲58	▲59	▲61

3 資金の状況・今後の見通しについて

- 給水収益による資金の収入に加え、村からの繰入金、広域化に係る国交付金（統合から10年間、令和8年度まで時限措置）や企業債を活用することで、増加傾向にある維持管理費や村内連絡管の整備費等を賄っている状況
- **令和9年度以降、資金が大幅に不足する見通し**



財政収支、資金の見通しを踏まえ、令和9年度からの料金改定に向け検討を開始

4 料金改定スケジュール（案）

年度・月	令和7年度 7月～3月	4月～5月	6月～7月	令和8年度 8月～9月	10月～11月	12月～3月	令和9年度 4月（予定）
千早赤阪水道事業 料金検討部会	料金検討部会設置	料金検討部会での検討			報告		改定後の料金の適用
経営・事業等 評価委員会	開催				意見具申		
運営協議会 首長会議	総会		総会	総会	首長会議		
企業団議会	7月全協 検討開始報告		7月全協		11月全協 条例改正 月定例会		